



# みらいっうしん

8月号

2025年8月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦芳子

## ☆感動体験を豊富に☆

顔を合わせれば、「暑いですね。」とつい言うってしまうほど、猛暑続きの毎日ですが、子ども達は何のその、汗をかきながらも、好きな遊びを満喫しています。本日、無事一学期の終業式を迎えられたことは、何よりも嬉しい限りです。1号認定のお子さんは、明日から夏休みに入りますが、この夏にしかできない体験やお手伝いなどを取り入れ、有意義な日々を過ごして下さい。また、2・3号認定のお子さんにおいても、なるべくお休みの時は、親子の絆を深めるため「家族水入らず」の時間を作ってゆったりと過ごしていただきたいと思います。6月に講演をしていただいた、やなせたかしさんの最後の編集者・平松利律子先生もおっしゃっていましたが、親子の絆は、この乳幼児期に培われるもので、中身の濃い時間を過ごして下さい。毎日のたった10分間の時間を利用して、「読み聞かせ貯金」をするだけでも、大人になったとき、いろいろな面で、効果が出たというデータがあるそうです。時間をかけてどこかに遊びに行かなくても、毎日の積み重ねが大切だと感じます。どうぞ、保護者の皆様も実践してみてはいかがでしょうか。

さて、7月は、大きな行事が2つありました。その1つは、「七夕コンサート」です。今回も、「ウッドウィンド・クインテット」という5人組の方に来ていただきました。今年も、金管楽器のトランペット、トロンボーン、ホルン、チューバの演奏者が集まり、迫力のあるコンサートが行われました。乳児さんとほし組、そら組とにじ組の2つのグループに分かれて演奏を聴きました。メンバーの方全員がとても優しい方達で、楽器紹介など、子ども達に分かり易く声をかけていただきながら、子ども達の興味関心が膨らむようにプログラムが構成されていました。ミッキーマウスマーチの演奏でコンサートが始まると、会場は一気にディズニーランドに来たような雰囲気に包まれ、子ども達は、普段見ることがない楽器と音色に目をキラキラ輝かせてコンサートを楽しんでいました。夏に因んだ曲、七夕さま、きらきら星をはじめ、トトロ、リトルマーメイド、手のひらを太陽に、ぼよん行進曲など、美しい音色にうっとりしたり、心が弾んだり、曲に合わせて手拍子も自然に出てくるなど、身体全体で楽しさを表現していました。そら組とにじ組の回では、クイズや体験コーナーがあり、にじ組の代表の子ども達が実際に、チューブにマウスピースがついたものを吹いて音を鳴らす体験もしました。アンコールでは、ドラえもん曲も飛び出し、大満足の時間でした。最後に演奏者には、にじ組さんから手作りのお礼のペンダントをプレゼントして、今年のコンサートは終わりました。2つ目の行事は、「なつまつり」です。今年も、3月にこども園を巣立った小学1年生を招待しました。久しぶりの園内に入ったことで、少し緊張している様子が見られましたが、どの子も笑顔で楽しんでいました。在園児も事前に、ちょうちん、うちわ作りや太鼓を叩いたり盆踊りをしたりして気分はすでにお祭り気分でしたが、当日は、何のゲームがあるんだろうとワクワクしている様子で、「亀すくい」「輪投げ」「シアター」「太鼓」「コリントゲーム」「たこ焼きビンゴ」を楽しみました。さくら会さんが企画した写真コーナー、製作コーナー（でんでん太鼓）も好評で、思い思いの楽しみ方で参加していました。また、盆踊りでは子ども達の笑顔が溢れていて、甚平や浴衣姿も素敵でした。お祭り後も、遊びの中に体験したことを取り入れて楽しんでいる姿が多く見られ、このように普段の保育から行事に繋がり、楽しかったことを振り返りながら、また、遊びが膨らむことは、子ども達の感性や意欲がより豊かになることを改めて感じています。今後も多様な体験から豊かな感性を育み、子どもの心の動きに共感する重要性を認識し、職員一同、子ども達が心身ともに成長していけるように、この夏も自己研鑽し、「教育・保育」を学んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、暑い夏です。体調を崩さないよう気を付けてお過ごしください。



平松さんによる読み聞かせ  
(ほし組)



トウガンって  
大きい・



にじ組のマウスピース体験